

PCBコホート 研究における 神経学的検査

衛生学講座配属
奥村有理 小田代夏子

フェロー諸島での捕鯨



秋田医学会特別講演

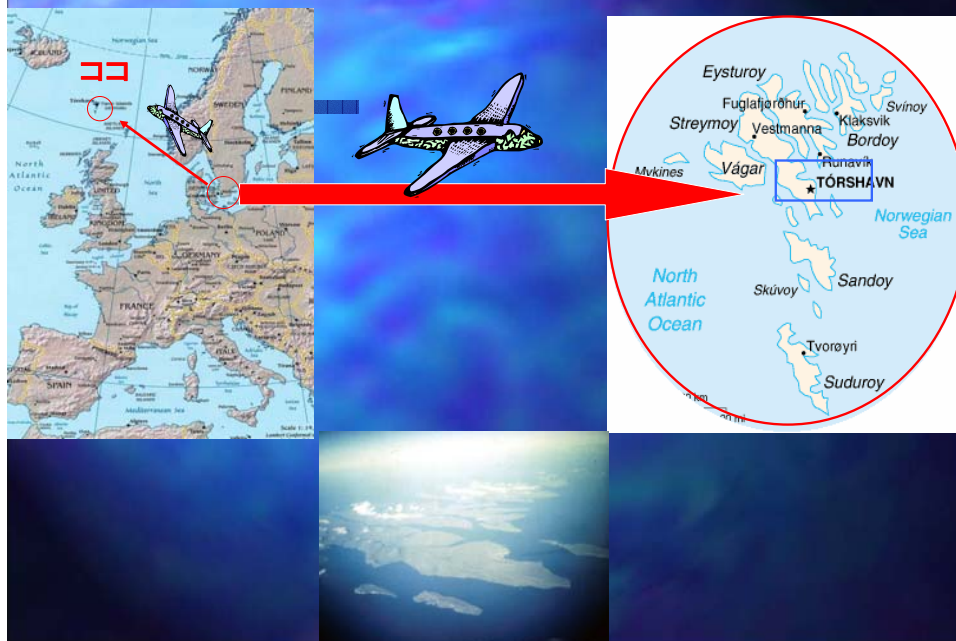


飯島先生



Grandjean先生(左)とWeihe先生(右)

コペンハーゲンからフェロー諸島へ





Weihe先生(フェロー諸島)



職業・公衆衛生部事務所



フェロー諸島の光景



検査室の光景 1

検査室の光景 2

Reaction to push (Sitting)



Knee jerk (Tendon reflex)



Kicking



手のひらを蹴る

Romberg



20秒間、目を閉じて立つ

Finger-nose test



目を閉じて人差し指で鼻を触る

Follow-a-finger test



検査者の人差し指の動きを追う

Walking on tiptoe



つま先で歩く

Standing on one leg



片足で立つ

Sitting up without help of hands



寝ている姿勢から手を使わずに起きあがる

事務所のキッチン



寮のキッチン



フェローでは基本的に
電気コンロしかない！





街の景色1



街の景色2



フェロー諸島の景色 (Old churchの前で)



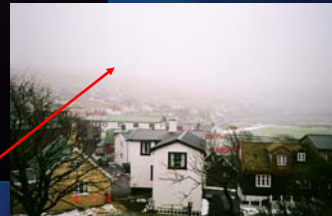
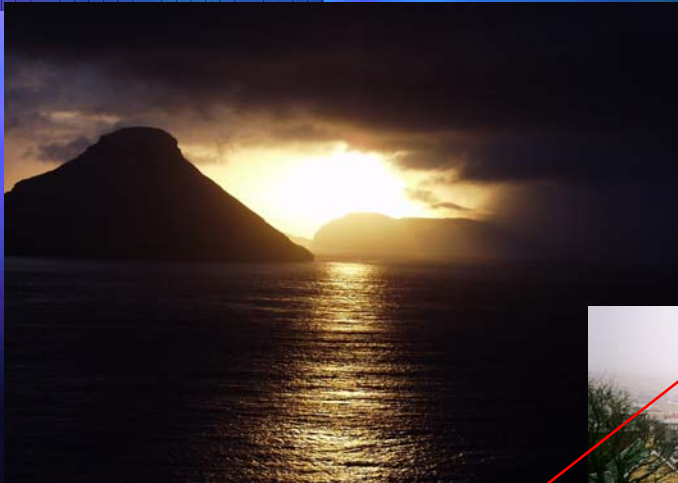
冬



夏

美しい夕日

フェロー諸島は年間の2/3が雨、雪、霧、曇り!!



この霧のせいで飛行機が来なかった

コペンハーゲン 中央駅



Wilcoxon signed rank test (有意差検定) の結果 1

(Ulrike先生と奥村・小田代の採点結果について)

	奥村	小田代
▪ Supination/left	p=0.041	p=0.608
▪ Kicking/inwards/right	p=0.073	p=0.011
▪ Ankle jerk/left	p=0.091	p=0.011
right	p=0.057	p=0.003
▪ Knee jerk/left	p=0.073	p=0.006
▪ Biceps/left	p=0.484	p=0.006
▪ Triceps/left	p=0.041	p=0.023
right	p=0.041	p=0.011
▪ Rotation/left	p=0.777	p=0.027
right	p=0.299	p=0.008

Wilcoxon signed rank test (有意差検定) の結果 2

(Ulrike先生と奥村・小田代の採点結果について)

	奥村	小田代
▪ Diadochokinesis/left	p=0.178	p=0.011
right	p=0.041	p=0.351
▪ Finger-nose test		
Touching/right	p=0.037	p=0.227
▪ Adduction/left	p=1.000	p=0.037
▪ Associated movements		
Walking on tiptoe/left	p=0.013	p=0.407
right	p=0.015	p=0.212

Wilcoxon signed rank test (有意差検定) の結果

(奥村・小田代の採点結果について)

・Biceps reflex/left	$p=0.037$
・Rotation(standing)/left	$p=0.032$
right	$p=0.023$
・Diadochokinesis /left	$p=0.008$
・Associated movements	
Walking on tiptoe/right	$p=0.041$
・Associated movements	
Walking on heels/right	$p=0.009$

有意差の生じた要因

- 採点基準を正確に把握できていなかった
- 同時に見るべき項目が複数あった
- 自分で行わないと正確な反応がわからない項目があった
- 子供の状態（協力的、緊張、疲労など）が採点や結果に影響した

より客観性を持った検査を行うためには

- 採点基準を正確に把握し、自分の中で常に採点基準を一定にしておく
- 経験を積むことにより、複数のポイントを観察できる目を養う
- 自分で検査を行うことで、より正確な採点ができる

しかし・・・

“主観”を完全に取り去ることは難しい!!



検査には主観が入ってしまう可能性があることを理解するとともに、客観的検査の重要性を再認識しました

お し ま い

